平成３０年度　国立市立国立第二小学校　校内研究まとめ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成30年3月

|  |  |
| --- | --- |
| 授業実践 | 高学年 |
| ９月１２日（水）　５年「明日をつくるわたしたち」　文種：提案書  ・「日常生活で困っていること」という身近な問題を調べるという題材を取り上げることで、意欲的に課題に取り組めるようにした。  成果：見開き１ページの指導案は、見やすく画期的だった。授業づくりのポイントを「指導の手だて」と  して視点をはっきりさせ、指導計画を「交流」まで含めて一つのサイクルになるとさらに良い。  課題：「提案書を書く」という、行動をかきたてる出会いをもっと工夫すると、単元を通しての意欲を高  め、自主的な学習にできた。説得力をもたせるための取り立て指導も、思考を深める工夫が必要。 |
| 低学年 | |
| １１月１４日（水）　２年「分かりやすくせつめいしよう」　文種：説明書  ・単元内で「習得→活用→交流」の流れを作ることで、習得したことをすぐに活かせる場を設定した。  成果：スモールステップにすることで、普段書けない児童も何をするかが分かり、自信をもって書くこと  ができた。また、「説明書を書く」という行動に必然性と「やりたい」という気持ちを伴うことがで  き、意欲的に学習に取り組めた。  課題：モデル文の適切な量、提示の仕方、本時の課題のつかませ方（本時で身に付けるべき力）について  もう少し検討が必要だった。 | |
| 中学年 | |
| ２月６日（水）　４年「わたしの研究レポート」　　文種：報告文  ・課題設定に時間をかけ、調べ学習に見通しをもって取り組めるようにした。また、集材に力を入れることで、「書きたい！」という意欲と「書ける！」という自信をもてるようにした。  成果：個人の課題を立てるための時間をしっかりとったのが良かった。集材の期間に、一人一人の進度を  把握し、適宜アドバイスを行ったのがよかった。  課題：報告文と報告書（実用的）の違い等、文種と活動内容が合っているか、教科書の内容も合わせて、  一考が必要。 | |
| 成果 | 【手立てについて】  題材の設定（意欲を高める）  　それぞれの研究授業で、子供たちが意欲的に取り組めるようテーマを工夫したことは効果的であった。  校内掲示（考えをもつ）  児童の書いた文章（良いモデル）を掲示することが、自分の考えを文章に表現する上で効果的であった。子供たちが掲示した文章をよく見ていた。  モデル文（技能を高める）  研究授業の手立てにある「モデル文」は授業でも効果的であった。教科書にあるモデル文を活用するだけでなく、教師が「良いモデル」「悪いモデル」を作り、活用するとより効果的であることが分かった。  【その他】  普段の授業について  普段の授業でも、書くことを意識して授業を進めることにより、教師の意識が高まった。 | |
| 課題 | 【手立てについて】  校内掲示（考えをもつ）  児童の書いた文章（良いモデル）を掲示することが自分の考えを文章に表現する上で効果的であったが、その内容に統一したものがあると、さらに良かった。  【研究全体に関わること】  目指す児童像  どのような事を目指しているのかに、曖昧な部分があった。もっと明確なゴールを共通理解し、目指す方向性を明確にしたい。  他教科での深まり  今年度は国語に絞り研究を行ったので仕方のない部分もあるが、他教科での「書くこと」の話し合いが増えていくと良い。そのことにより、習得と活用の良いサイクルについて、学校教育全体で考えられるようになる。 | |

**研究主題**

意欲的に学び、よく考え表現する子供の育成

*書く力を育てる指導を通して*

　主題設定の理由

学校は学びの場であり、その主体は子供である。子供は学習や生活など、様々な教育活動に主体的に関わりながら目標達成や課題解決に向けて活動し、生きるために必要な資質・能力（生きる力）を身に付けていく。

本校では、生きる力として学習指導要領に示された「未来を切り拓くために必要な資質・能力」を教育目標（つよく・かしこく・あたたかく）の育てたい子供の姿とし、全ての教育活動において子供の主体性を生かした学校づくりを進めている。

本年度は、学習指導要領の改訂の主旨を踏まえ、教育目標「かしこく」（意欲的に学ぶ子・よく考え表現する子）を重点目標とするとともに、目指す子供の姿を研究主題とし、その具現化を図る。また、本校の児童の実態や教員のニーズに基づき、国語科における書く力を育てることを中心に研究を進め、研究主題に迫ることとした。

**研究構想**

他教科における「書く力」の活用（Ｈ３１年度）

国語科における「書く力」の習得と活用（本年度）

国語科における「書く力」の習得（昨年度）

**本年度の目指す児童像**

自分の考えをもち、書き表すことができる児童

習得

活用

具体的な手立て

（１）「意欲を高める」ための手立て

（２）「考えをもつ」ための手立て

（３）「技能を高める」ための手立て

★各教科における横断的指導

★日常的な取り組みの実践

*→「書く活動」を横断的に取り入れた年間計画作成*